

# 卒 寿 に 思 う

石 原 靖 造

206万人、1.6% これは日本人人口に占める90歳以上の方の数字です。私も今年10月にこの仲間入りをさせて頂きました。

出来の悪かった学生時代、英語に苦労した豪州駐在、満員電車の通勤、家内の介護、等々辛かった事もありましたが、時間というものを忘れてしまったのか、長く生きて来たと言う実感はなく、気が付けば90歳と言うのが正直な気持ちです。

但し、これまでの道程に関わって頂いた友人、知人、他関係者の皆さんへの感謝の気持ちは忘れないつもりでいます。

加齢と共に気力・体力は衰えてきますが、皆さんはこの避けられない現実とどの様に向き合って居られますでしょうか？

人の名前が出て来なかったり、漢字が書けなかったり、忘れ物が増えたりと恥ずかしい思いやイライラが増えるばかりで、身体に決して良い筈はありません。

然し考えて見ればもうこの歳ですから、何が起こっても当たり前とも言えます。何とかこの加齢に抗う気持ちから脱出しようと考えました結果、“何でもあり”なる一語を採り入れる事にしました。つまり自分の身边に何が起こっても全部受け入れ、しかも気にしないと言うものです。この“何でもあり”のお陰で、この処イライラしたり、失望、落胆したりと言った事が少なくなり、少し気分が楽になった様な気がしています。

“矢でも鉄砲でも持って来い”とまでは言いませんが、少しは腹を据えた気分



とでも言えるでしょうか？

これからは“何でもあり”で行きたいと思っています。

後気になる事が一つあります。自分が生きてる間の問題ではないので、如何でもよい話かも知れませんが、日本の国の将来です。

このまま日本の人口が減り続けますと、100年後には3~5000万に、更に3300年、今から1276年先には零になります。つまり日本国は消滅するのです。

これより以前に地球温暖化問題があります。2100年には地球の平均気温が2度上昇し、海面は約90cm上昇します。この海面上昇で東京、大阪、名古屋は浸水、冠水すると言われていています。つまり主要都市の沈没、日本国の崩壊なのです。

自分はもうこの世に居ませんから、如何でもいい話ですが、いくら“何でもあり”でも、これだけは受け入れる事が出来ません。

国会の偉い先生方も裏金問題や103万円の壁も大事でしょうが、もっと日本国の存亡が掛かっている根本的な問題を議論してほしいと思います。

果たして日本の国の将来は如何になりますでしょうか？残念ですが、これはあの世で拝見させて貰う事になると思います。

扨て、皆さんは卒寿に何をお感じになられたでしょうか？是非お聞かせ頂ければと思います。

駄文にお付き合い頂き有難う御座いました。

どうぞ佳いお年をお迎え下さい。

(完)

令和6年12月